

# 一学年だより

No. 17

令和6年 2月 5日  
太宰府市立太宰府西中学校  
文責：江崎 彰泰

## テストで自分を磨く2

～「わからない」を何とかする！～

インフルエンザが猛威を振るい、今日から学校生活が再開となりました。手洗い、うがいと換気の徹底を心がけ、体調管理に努めていきましょう。

このような大変な状況ではありますが、明日学力診断テストが行われます。体調を崩して十分な準備ができなかった人もいると思いますが、今の力を出し切ることに全力を注いでください。

さて、勉強していると、わからないことやわからない問題に必ず出会います。知らないことを知り、わからないことをわかるようにするのが勉強ですから仕方ありません。「わからない」をそのままにしておく、ますますわからなくなり、混乱して、最後には「〇〇なんて生活の中では必要ないよ」と開き直ってしまう…。

13(火)、14(水)に延期となった1年生最後の期末考査では、「わからない」の原因を見つけ出し、「わからない」問題と向き合って、何とかしようとする勉強をしてほしいと思っています。

### 【「わからない」の見つけ方】

#### 1 わからないコトを確認する

勉強中、突然わからなくなったら、その瞬間が大切です。教科書やノート、ワーク、プリントにすぐに印をつけましょう。「わからないのは何か。」問題なのか、公式なのか。用語なのか、文章なのか。考え方なのか、意味なのか。図なのか、表なのか。何がわからないのか、わからなくなった瞬間にハッキリさせましょう。ハッキリさせないと、勉強が終わる頃には「なんとなくわかったような気分」になってしまいます。勉強が苦手な人の多くが、この「なんとなくわかったような気分」にやられています。



#### 2 「わからない」は「わかっている」部分の一番最後にある

「わからない」の原因は、「わからない部分」にあるのではないのです。「わかっている部分」の一番最後の部分が「わからない」ことが多いのです。「わかっている部分」の一番最後の部分が「わかっている」ではなく、「なんとなくわかったような気分」で終わっているのです。それを「わかった」と思い込んでいただけなのです。

### 【「わからない」の対処方法…①自分で調べる ②人に聞く】

「わからない」のレベルで①自分で調べると②人に聞くを使い分けることが大切です。

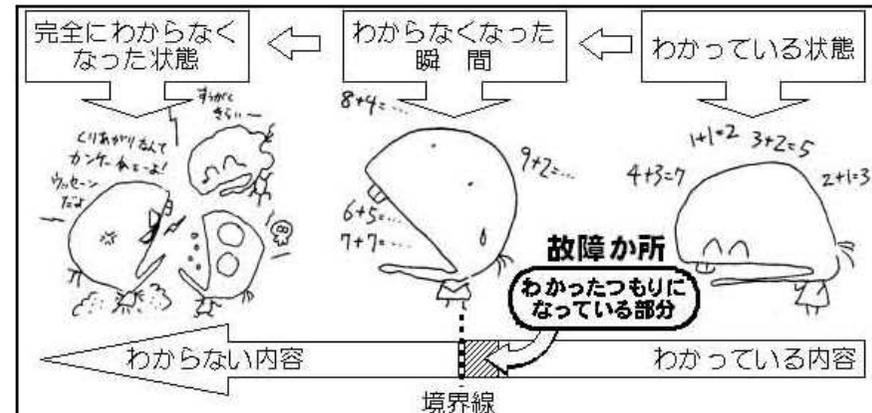
「なんとかなりそう」な問題であれば、自力で教科書やノートを調べ、「わかる」まで考えましょう。自分で「調べ、考える」ことはとても尊く、そして忘れにくいものです。

しかし「なんともなりそうにない」という問題ならば、時間制限が必要です。「あと何分間は自分で考えてみよう」と時間制限をする。時間までになんともならなかったら、いさぎよく解答例を見て、解き方を研究するのは。ただし、答を写し取るだけでは逆効果になります。答を写すだけで、勉強したような気分になり、「わかったような気分」になってしまうからです。それを避けるためには「何てこうなるんだろう?」と常に疑問を持ちながら研究するのです。

そして、「わかった」と思ったら、必ずもう一度、解答を見ずに自分で解いてみることが大切です。それでも「わからない」が解決できないときは「人に聞く」に切り替え、翌日、先生や友達へ質問しましょう。

これで「わからない」は、一転して自分自身の財産になります。

参考文献 西村克彦：著『「わかる」のしくみ 「わかったつもり」からの脱出』



わからない部分とわかっている部分の境界線を見つけ、「わからない」部分を「わかった」に変えていこう！



### ワケわからん、が一番大切

私は、やっぱり学校にいるあいだに勉強はしたほうがいいと思っています。それが結局、いい仕事をするのができたり、やりがいに出会える可能性を高くしたりするからです。

勉強というと、たくさんの知識を身につけたり、もうちょっとカッコよく言えば、考え方、論理の立て方をトレーニングするためだと言われます。でも、そんなこといっても、学校で身につけた数学の知識なんて、社会では全然、役に立たないよと、先輩は言うでしょう。それに実際に働いている人が、いつもいつも論理的に考えてやっているわけでもない。仕事をすれば、考えることなんかよりも前に、現実はとにかく行動することを求められることのほうが圧倒的に多いんです。

ただそうだからこそ、勉強することには意味があると、私は思うんです。学校の授業だって、試験の問題だって、勉強している内容は、だいたい「ワケわからん」ことだらけです。内容だってワケがわからないし、何のためにこんなことを勉強しないといけないか、ワケや意味なんてわかりません。でも、それがいいんです。だって、仕事なんて、ワケなんてわからないままにやっていることが、ほとんどなんですから。

だから、私は学校にいるときから、ワケわからんことに慣れておくほうが有利だと言います。勉強なんて意味わからんですよ。でもだからこそ、いいんです。

「わからん」ということで、やめてしまえば、絶対に次のステージに進めません。わからないなりに何とかもがいて、そのなかで何かをつかんだり、あきらめずにやり続ける姿勢を、誰かが「見どころがある」と評価してくれているかもしれない。ワケわからんことにすぐにあきらめない人にだけ、チャンスはまわってくるものなんです。

小学校でも、中学校でも、高校でも、考えたりするというのは、ワケわからんことにあきらめずに触れ続けていくことなんだと、最近、つくづく思います。

玄田有史著「14歳からの仕事道」より

### 保護者のみなさまへ

先日は、お忙しい中、親子進路学習会にご参加いただきありがとうございました。

インフルエンザの流行による学校閉鎖が明け、本日から学校生活が再開しました。学力診断テスト、期末考査と大切なテストが続きます。引き続き、お子さまへの感染対策と体調管理をよろしく願います。